

PEACE DAY 映画祭 2025

UNITED PEOPLE × peaceday2025



平和を考える映画上映会を
開催しませんか？



PEACE DAY映画祭2025の期間中に 『ウィー・ハブ・ア・ドリーム』を上映しませんか？

毎年9月21日は国連が定めたピースデーです。ピースデーを日本で広めているNPO法人PEACE DAYと映画『ウィー・ハブ・ア・ドリーム』の配給会社ユナイテッドピープルは、毎年、PEACE DAY映画祭を実施しています。今年は9月15日から21日のPEACE DAY WEEKの期間中に『ウィー・ハブ・ア・ドリーム』の全国上映を呼びかけます！2026年の劇場公開前に先行上映できる機会です。

《上映可能日程》

2025年9月15日（月）から9月21日（日）

《上映料金》

◎1日ライセンス・・・最低保証料金55,000円（税込）

※ただし動員人数×660円（税込）が最低保証料金を上回る場合は、

動員人数×660円（税込）

※1日毎に料金が発生します。

※同日、同会場（同敷地内）であれば、1日の間で何度でも上映可能です。

※入場料（参加費）の有無に関わらず、動員人数で上映料金を精算します。

《宣伝材料》

ちらし 1セット（B5 100枚） 880円（税込）

ポスター1セット（B2 3枚） 1,100円（税込）

※ちらし、ポスターとも買取り ※発送は2025年8月中旬以後になります。

《上映素材》

オンライン*（字幕版） / DVD（字幕版） / ブルーレイ（字幕版）

* 通信環境が良ければ、基本オンラインをご選択ください。

* オンライン配信は不可。対面での会场上映のみ開催可。

《送料》

全国一律520円（税込）

詳細は <https://unitedpeople.jp/dream/pd2025> か右記QRコードまで



監督：パスカル・ブリッソン
（『世界の果ての通学路』 2012年）

制作：Eady East Prod

配給：ユナイテッドピープル

96分／フランス／2023年／ドキュメンタリー

©EADY EAST PROD-JOUR2FÊTE 2023



世界各国で大ヒットを記録したドキュメンタリー『世界の果ての通学路』(2012年)監督最新作

WE HAVE A DREAM

ウィー・ハブ・ア・ドリーム

“できない”なんて誰が決めたの？



ハンディキャップを抱えながらも夢を抱き挑戦し続ける5カ国6人の子どもたちを追うドキュメンタリー

監督：パスカル・ブリッソン (『世界の果ての通学路』2012年)
監製：ユナイテッドピープル 96分/フランス/2023年/ドキュメンタリー EADY EAST PROD-JOUR2FÊTE-2023

A FILM BY
PASCAL PLISSON

ハンディキャップを抱えながらも あきらめずに
夢を追いつける5カ国6人の子どもたちを追った
感動のドキュメンタリー

監督：パスカル・ブリッソン
(『世界の果ての通学路』2012年)

制作：Eady East Prod

配給：ユナイテッドピープル

96分/フランス/2023年/ドキュメンタリー

©EADY EAST PROD-JOUR2FÊTE 2023



Synopsis

誰が“できない”なんて決めたの？
“特別”な子どもたちの5つの真実の物語

障がいや、他の子どもと違った特徴を持ちながらも夢を抱き、挑戦し続けている5カ国、6人の子どもたち。フランスのモード(14歳)は出生時に片足を切断せざるを得ず、重度の聴覚障害も抱えているが、音楽やバレエに熱中している。ルワンダのザビエル(14歳)はアルビノで、毎日、好奇の眼差しや身の危険を感じながらも熱心に勉学に励み、医者になる夢を抱いている。ネパールのニルマラとケンド(13歳)は2015年の大地震で片足を失ったが、無二の親友としてお互いを支え合いながら、義足でダンス公演。ケニアのチャールズ(11歳)は、生まれつき視覚障害があるが、長距離ランナーになる夢を抱く。ブラジルのアントニオ(8歳)は、自閉症であり、注意欠如多動症(ADHD)と聴覚障害を抱えるが家族の深い愛情を受け様々なことに興味を持ちよりよい教育環境を求めている。家族や友人らと共にあきらめずに夢を追いつける姿を描くドキュメンタリー。



マウド(フランス)



ザビエル(ルワンダ)



ニルマラとケンド(ネパール)



チャールズ(ネパール)



アントニオ(ブラジル)

上映方法&お申込み手順

※映画の上映は、対面での会场上映のみ可能です。Zoom等を活用した配信は不可です。
※主催者側の都合で上映会がキャンセルとなった場合も、通常の上映料金が発生いたします。

01

cinemoにメンバー登録(無料)

上映会のお申込み、上映会の情報発信等ができるようになります。

※下記②③⑥は全てログインをした状態で行ってください

※ログインパスワードをお手元にお控えください



メンバー登録はこちら

02

「ウィー・ハブ・ア・ドリーム」上映会開催お申込み

／PEACE DAY WEEK 関連プログラムお申込み



「上映会開催のお申込み」*

必要事項をご入力の上確認&送信。

*上映素材は「オンライン」(ストリーミング)
がおすすめです。



ページ内URL「募集要項」を確認。

必要事項をご入力の上確認&送信。

申込締切: 2025年8月20日(水)

03

上映会情報を投稿／告知開始

cinemoマイページへアクセスし、「開催予定の上映会」の「イベント名」をクリック、「上映会情報を編集」より告知文等を入力。最後に、「cinemoに公開」項目の「公開」を選択して編集を完了するとサイトに公開されます。

※お申込み完了時点では非公開の状態です。

04

上映素材確認・お受け取り／試写

オンライン素材は、上映日の10日前よりマイページよりご確認いただけます。

DVD、ブルーレイの場合は、上映日の約2週間前に弊社より発送します。

いずれの上映素材も、速やかに本番用の機材で**全編再生確認**をお願いします。

05

上映会開催(当日)

当日も早い段階で試写&投影チェックを行ってください。

座席から字幕が見えるか、音量や会場案内の設置、
配布物やタイムスケジュールの確認。

最終的に映画を視聴した参加人数を集計してください。

06

上映素材返却／開催報告

上映素材をご返却の上、マイページへアクセスし、
「開催報告」の報告フォームより、参加人数等を入力、
送信してください。

※数字は半角、「送信内容を確認する」「確認する」の
2段階で提出完了となります。

07

請求書発行

開催報告の内容を確認次第、cinemo運営事務局より
請求書を原則PDF添付でメールにてお送りいたします。

※請求書原本郵送をご希望の方はご連絡ください。

08

お支払い

請求書記載の振込先に速やかにお支払いをお願い
いたします。お振込み期日は、通常、請求書発行日の
翌月末です。

登場人物



モード（14歳 フランス）

モードは出生時に片足を切断せざるを得なかった。また重度の聴覚障害も抱えている。しかし家族と、健常者である双子の姉ロミーの協力のもと、前向きで活発に過ごす彼女はどんな困難にも屈せず、自分の可能性に限界を設けない。『ウィー・ハブ・ア・ドリーム』では、障害をものともせず音楽やダンスに情熱を注ぐ彼女の普段の様子や、自身の障害のこと、両親が彼女を健常者と同じ世界で成長できるような環境を選択をしたことに、そして人生について自身の考えを語る姿を映し出す。



サビエル（14歳 ルワンダ）

サビエルは出生以来、アルビノ*であることで日々好奇や敵意に満ちた眼差しを受け続けている。母フローレンスは「アルビノは不幸をもらたす、呪われている」という差別や偏見、そして命が脅かされる恐怖から彼を守るために尽力してきた。アフリカの一部ではアルビノの肉体を呪術に用いれば富と名声を得られるなどの迷信により、アルビノ狩りと言われる誘拐事件や殺傷事件が多発している。母親の献身的な支援や理解ある中学校の校長にも支えられ、サビエルは医師になる夢を抱き熱心に勉学に励んでいる。

*アルビニズム(先天性白皮症)の人を指す。遺伝性疾患で、皮膚、目、髪などに色素欠乏が見られる。また視力が弱く、日光に極端に敏感などの特徴がある。



ニルマラ、ケンド（13歳 ネパール）

2015年のネパール大地震により片足を失ったニルマラとケンドは、出会ってから7年、無二の親友として共に困難を乗り越えてきた。『ウィー・ハブ・ア・ドリーム』では、災害直後のネパールの様子のアーカイブ映像も交え、困難を乗り越え成長し、それぞれの夢を抱く2人の様子を紹介する。2022年には新型コロナウイルスの流行のため古くなった義足を中々交換できないというトラブルを抱えつつ、2人は学校のダンス発表会で両足で踊れるよう練習に励んでいる。



チャールズ（11歳 ケニア）

チャールズは生まれつき視覚障害があり自宅から離れたチカにある盲学校に通っている。両親のウィルソンとルシーは息子の可能性を信じ深い愛情で彼を見守っている。チャールズは、同じように視覚障害を持つ伝説のランナー、ヘンリー・ワンヨイケのような長距離ランナーになりたいと夢を抱く。パラリンピックの5000メートル走で金メダルを獲得し、マラソンで複数の記録を保持しているヘンリーは、自身の経験からチャールズを視覚障害のない子供たちと共に学ぶインクルーシブな学校に転校させるよう彼の両親に勧める。



アントニオ（8歳 ブラジル）

アントニオはくせ毛の元気な少年で、2014年7月、生後3〜4ヶ月の頃に現在の父カブラルと母アネテの元へやってきた。早産で生まれ、成長過程で健康上の問題を抱えてきており、自閉症、注意欠如多動症(ADHD)と聴覚障害を抱えている。また、父のカブラルは23歳の時に自動車事故により歩行不能になった。家族は愛に満ちた幸せな日々を過ごしているが、3人の住むサルバドールでは完全にインクルーシブな教育施設が見つからないため、アントニオはすでに4校以上の学校を転々としており、両親は彼にとってよりよい教育環境を求めている。